

平成30年度 北九州地域産業人材育成フォーラム  
地域連携型インターンシップ（研修型）  
実施後アンケート 集計結果

【学生版】

北九州地域産業人材育成フォーラム  
2019年3月

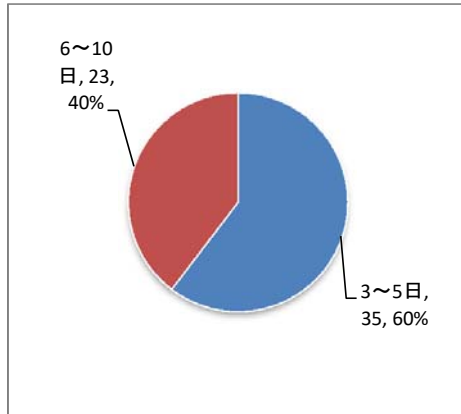
## 1. アンケート概要

実施期間 平成30年7月31日～10月30日

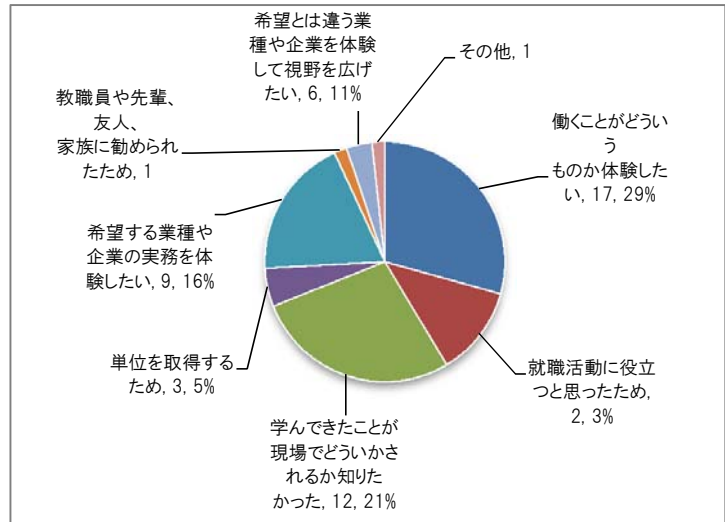
対象者 平成30年度 インターンシップ参加学生（全学校） 65名

回答数 58名 （回収率 89.2%）

## 2. 実習日数（実働日数）について

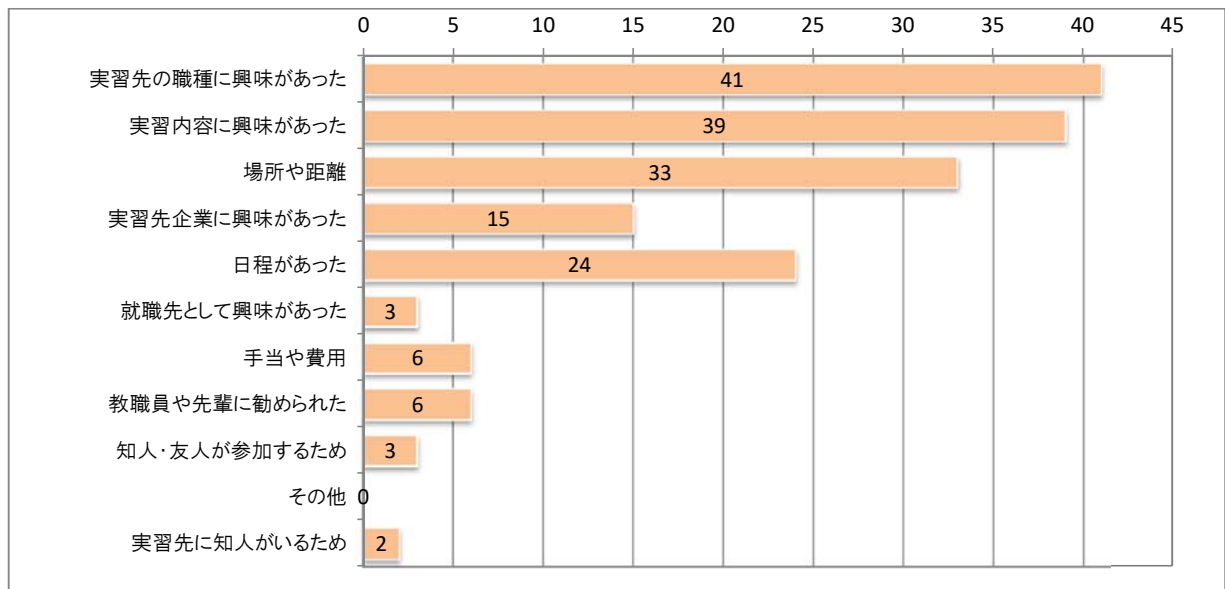


## 3. 参加動機について



## 4. 実習先を決めた理由は何ですか（優先順位3つまで回答）

(人)

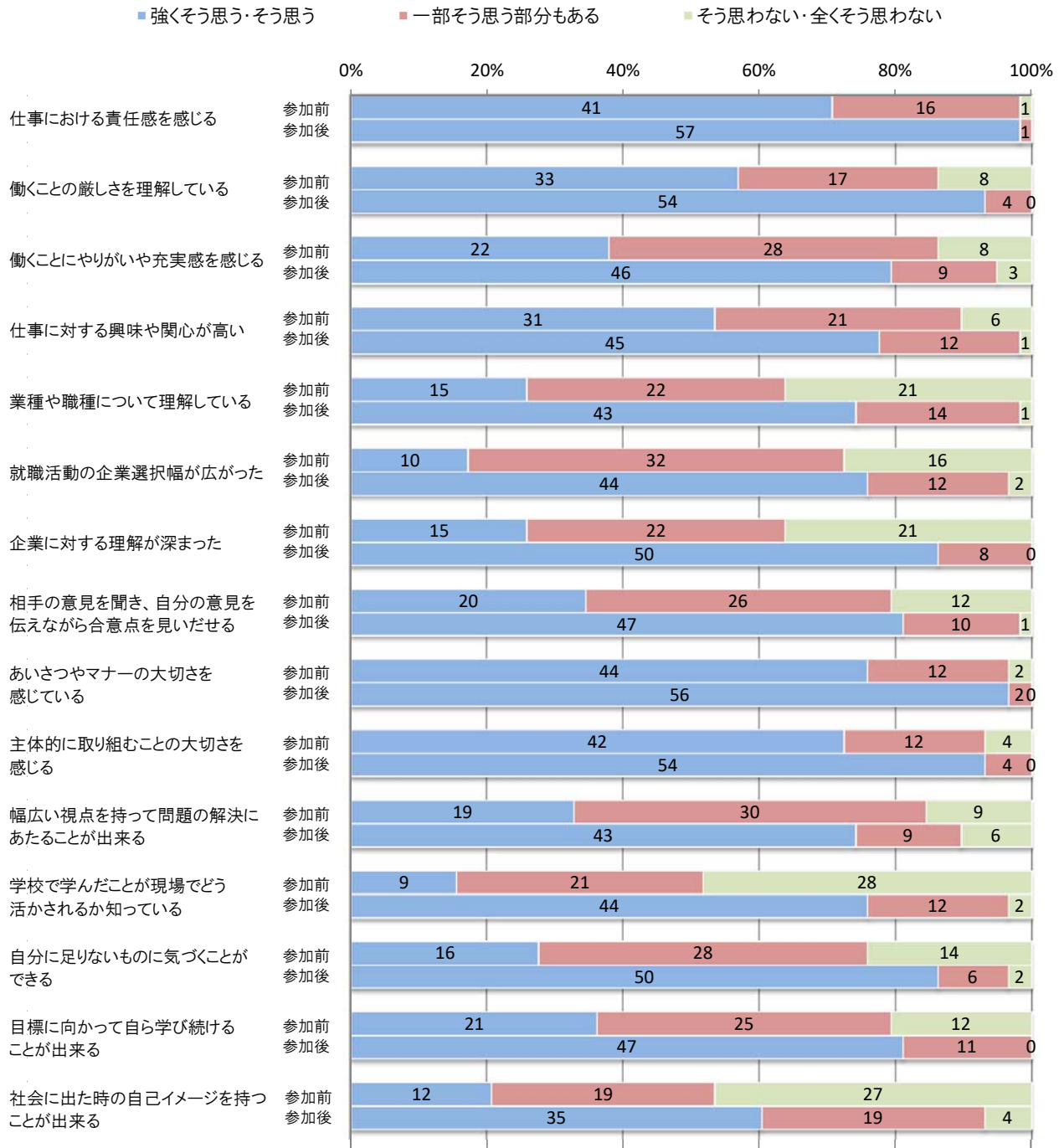


## 5. インターンシップ参加に向けて行った事前準備を教えてください

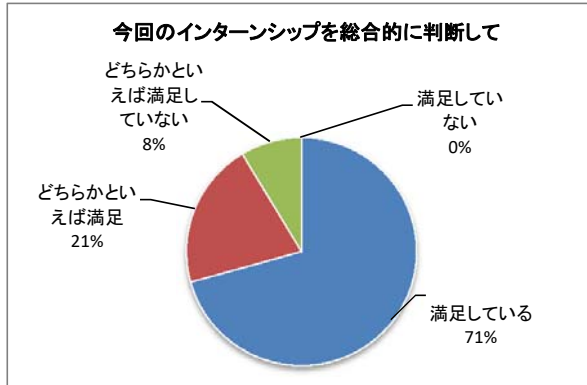
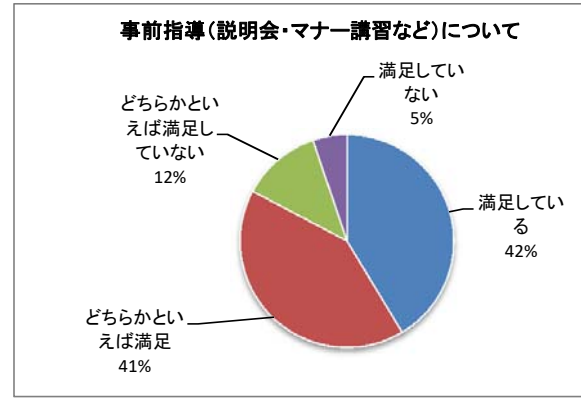
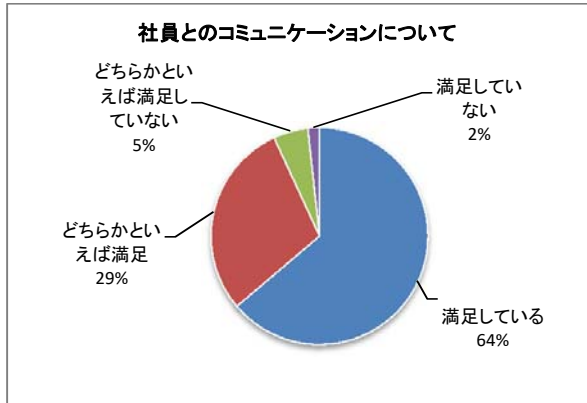
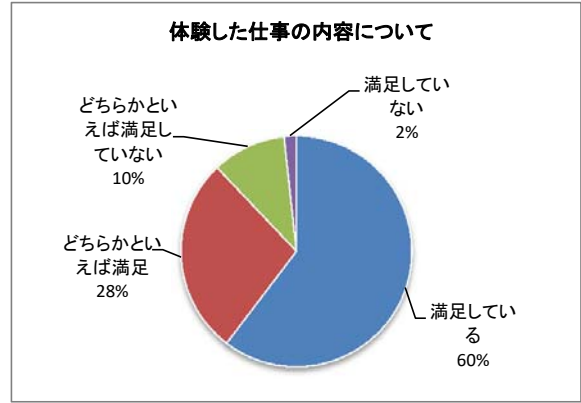
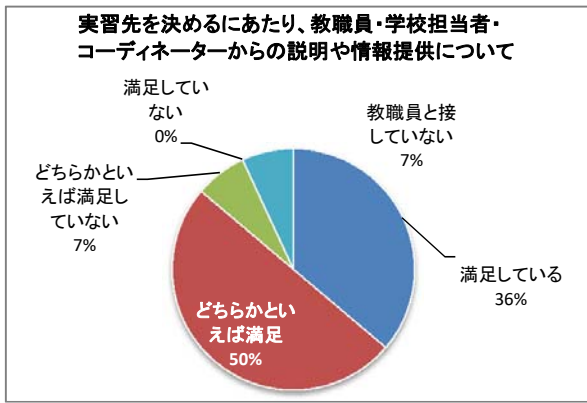
・ホームページや、会社案内等での企業情報の収集	21 件
・実習先企業の通勤手段の確認	3 件
・ビジネスマナー等の勉強	11 件
・身だしなみや、必要なものを準備	9 件
・実習に必要なと思われる知識の復習や予習	12 件
・生活習慣の改善	0 件

6. インターンシップ参加前と参加後の考え方の変化について教えてください

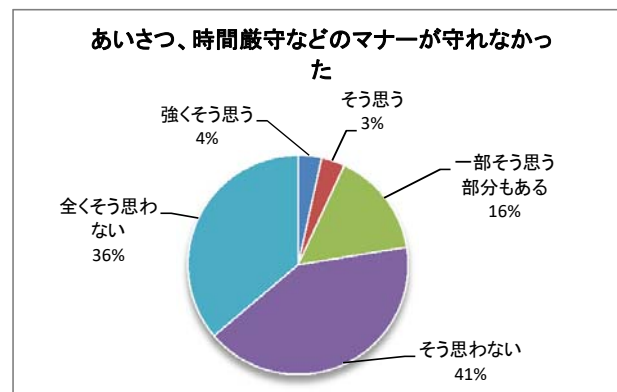
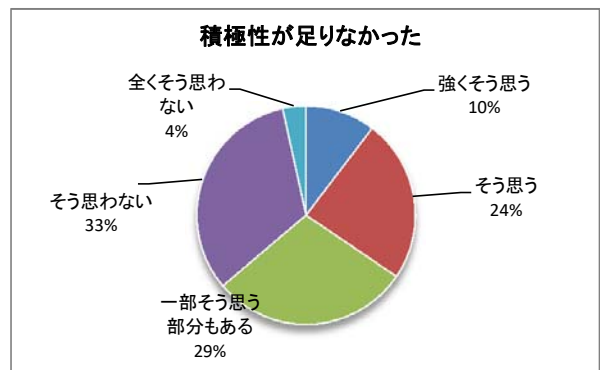
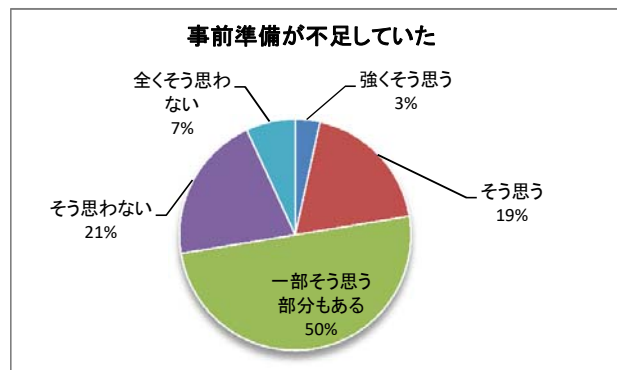
(人)



7. インターンシップ参加の満足度について、もっともあてはまるものを記入して下さい



8. インターンシップの反省点について、もっともあてはまるものを記入して下さい



## 9. インターンシップ実習で気付いたことについて記入してください（原文のまま）

- ・ URロボットを中心とした凡庸ロボットを知る事が出来た
- ・ 社会人の人達と同じような生活を過ごすことができるため、どういった生活リズムになるかとてもよく分かった。また、現在大学で習った技術を使って作業を行うことができたので、一見必要そうでなくても、きちんとしておくことが大事だと思った。
- ・ 私にはまだ気遣いが足りていないと思った。
- ・ インターンシップに参加して良かったです。なぜかという、たくさんのことを分かってきました。日本の会社仕事の流れ、業種の内容、作業体験もできました。でも、わからないことがたくさんありました。自分でまだ勉強が足りないと思います。
- ・ 自分がどれほどの実力を持っているのか、自分がどれだけコミュニケーション能力が欠けているのあを知ることができた。
- ・ インターンシップ実習を通してIT業界で働くために必要な知識などを学ぶことができた。また、会社の雰囲気を感じることができたことが良かった。
- ・ インターンシップに参加するまではその企業がやっている業務や力を入れている技術をパンフレットやインターネットで見ることしかできず、分からない点を質問することができなかったが、実際にインターンシップに参加し企業の人と話しをする中でそれらの点について聞くことができ、技術の凄さをより一層知ることができた。また、パンフレットにかかっていることよりも詳しい話を聞くことができ良かった。
- ・ 実際に現場に出て、空気を感じることができてよかった。自分が知らないことや学校では知ることのできない事など、就職活動に役立つことを知ることができた。また、現場を見学することにより自分がもし同じことをすることになったときのイメージができた。
- ・ バルブに関する作業以外に、エアーテックの社長と市役所の職員の方の仕事に関する打ち合わせの席に同席させて頂いたり、他大学のインターン生とグループディスカッションを行って交流したりと様々な体験ができた。
- ・ 自分が今勉強していることが活かされるかは分からないが、他人と積極的にコミュニケーションを取ることは今後必要となってくるので、自分から積極的になりたいと思った。
- ・ 製造業ということもあり、工場見学中見て回った時5Sがしっかりと行き渡っていることがわかった。そこから、品質の良い製品を提供できる要因なのだと気づかせられた。他大学の人を意見交換すると新しいことに気づく場面がいくつもあつた。積極的に話かける大切さを感じることができ良かった。マナーがまだ上手にできないところが反省点であった。
- ・ 社内の雰囲気がわかったのは良かったと思う。
- ・ 最初は緊張していたものの、社員の方々がとても優しく接してくれて緊張がほぐれました。勤務時間外でも自分の仕事に没頭している方々が多く、こちらのやる気にもつながった。
- ・ 他の人たちと楽しく働くためにはコミュニケーション能力は大事
- ・ 行かなければ分からない事が多いので、絶対に行つた方がいいと思う。良くない企業もあるかもしれないが、社会勉強なので損はしないとと思う。
- ・ 受入先企業の方たちとの会話はとても刺激的で、3年生の時にインターンを経験すると、確実に4年生に上がり就職活動する際に必ず役に立つ知識がつく。
- ・ 実際の現場で働く人々の様子を見学し、熱意を聞くことができた。
- ・ 社員の人や一緒にインターンシップを受けた人と、しっかりコミュニケーションを取れていたことは良かったと思う。システム開発について理解が追い付いていなかったのが悪かったと思う。
- ・ 学生と社会人の違いに気付いた。学生と違い社会人はよゆうがあり、何事も焦らず対応していた。経験の差というものを感じ知った。自分の知らないことを知れる喜びを久しぶりに味わうことができた。自分のコミュニケーション能力の欠点に気付くことができ、それを最終的になくすことができた。
- ・ 大学で学んだ専門知識は職場で必ずしも用いられるということではなくて、むしろ会社に入ってから勉強させられるということだった。大事なのは専門知識よりも人とのコミュニケーションやプレゼン、ディスカッションでの発信力がむしろ大事だと分かった。
- ・ 会社とはどのような所かということを感じることができたので良かった。
- ・ 事前に知らされていた実習内容と実施に行つた実習内容が違ったのが残念だった。インターンシップを通して仕事の大変さを学べたので良かった。
- ・ 職場の雰囲気を感じることができた
- ・ 私が日鐵住金ロールズのインターンシップを通して一番良かったと思うことは、2週間のインターンシップ期間中に何度も工場見学をさせて頂けた点です。座学での説明ではわからなかったことも工場内で実際に製造を見学することでより深く理解することが出来、とても良い経験になったと思います。また、実際にロールの製造に携わる社員の方に積極的に質問をし、ロールを通して金属材料のことをより深く知ることが出来たことも参加してよかったと思える点でした。また、見学では鑄造工程の迫力や溶湯の熱を間近で感じる事が出来、圧延ロールにさらに興味がわきました。

- 良かった点としては、私自身のためになる話が多くあったことです。さらに、部品等の現場作業をした事により、何が出来て何が出来ない等が判断できるようになった。

悪かった点としては、実習で仕事を割り振られる量が少なく、暇な時間があったことです。目標を持って臨まないとだらだらする実習になるため、向上心を持って取り組むことが出来た。
- Communication with company employees was complicated due to language barrier.  
The organization of the company and my missions were clearly explained to me.  
Some mission were thought to be for a beginner in web programming and were a little bit too simple for me.
- すでにある既製品を少し変えただけで、オリジナルを言える部分が少なかった。その他にも、使い方を理解するのに時間がかかりすぎた。最終プレゼンで理系の知識のない人に対して、分かり易い言葉で説明できていなかった。

そのため、理解が出来ないと言った問題があった。プログラムに関しての知識を一層深めようと考えようになった。研究で使用する機材の仕様書をきちんと使用前に読み、理解するように心がけることを考えるようになった。

知識のない人でも分かりやすく伝える発表方法を考えるようになった。
- 午後3時に一時休憩のようなコーヒーがもらえるのが初めてなので、うれしい。  
仕事場で全くおしゃべりしないのにびっくりしました。
- 今回のインターンシップを通して、モノづくりの流れや、実際に工場で行われている加工等を見ることができ、現場でのモノづくりについて理解することができた。また、全ての部署を見て回り多くの社員さん方々とお話することができ、とてもいい経験をする事ができた。また、技術系インターンシップではなかなか参加することのできない営業商談に同行することができ、営業目線でのモノづくりを見ることができ、とても新鮮であった。
- 良かった点:先輩たちは優しい、本番の開発する環境  
悪かった点:特になし  
興味をもった点:サイトの構築を学びました
- 良かった点は、ExcelやPowerPointを使うスキルが大幅にアップした点。また、使用した事のないプログラミング言語を使用できるようになった点。悪かった点は定時以降も仕事をしなければならないタスク量だったこと。
- 大学で学んだことの多くが企業で体験することができ、しっかり学習することがまず大切であり、その内でどう応用するのが大切なのだと感じた。同じような実験を行っていても、反応が異なり得たいものが十分得られていないことがあるが、そのときにどう対応するのが、一番もとめられてくる所なのかと思った。
- 大学で勉強している知識が社会に出ても役に立つということがわかり、勉強のモチベーションが上がった。
- 良かった点:現場での臨機応変な対応や、研究調査時の思量深さなど優れた一面を発見することができた。  
悪かった点:コミュニケーション力が元から不足していたので、ぎこちない会話になってしまった。  
興味を持った点:社長さんのアクティブさに驚いた。
- 今回行ったインターンシップ先では、2~5日目は製品サンプルを作ることを行ったけど指示にしっかり従って行動することが出来た。また、一緒に実習を行った人と分からない所を聞いたり会話したりできたのは良かったです。しかし、社員の人にあまり積極的に話かけたり、あいさつがあまり出来なかったのは悪かった点だと思います。化学工場の開発課ということで、いろいろな器具があり、それを使って実験を行ったので興味を持つことができました。
- 指導員から会社のことだけでなく、就職活動のこと聞けて、本当に参考になった。
- 実習では、社会人の生活習慣がシビアだと感じた。
- 大学で学んできたことは仕事には一部分しか使われず、仕事は流れにそっていろいろなスキルが必要な事が分かってとても良かった。
- 実際にその現場で働く人々に混ざって活動したので、仕事にうちこむ姿や社内の雰囲気を知ることができました。それを同時に、今の自分がどれだけ力不足なのかを痛感しました。マナー全般もそうですが、知識や経験が足りなかったと思いました。
- 参加者が自分一人だったこともあり、極めて細かい部分まで指導を受けることができた。自己設計したポンプ羽根車を試験し、それを既存のものと比較検討したり、また他の企業の方をの打合せ現場(自分の他に4人の社会人の方がいた)に同席させていただいた。この様なことは、多人数が参加する大企業でのインターンシップでは決してできないことかと思う。また、他の参加者がいなかったら質問などもしやすかったが、同世代の話し合う人がいなかったのは少し辛かったと思う。
- 考えて行動をすることを学ぶことができたと思います。インターンシップ期間中は、どうしてどのようにしてということを考える機会が多くあり、考えて行動する習慣ができました。インターンシップに参加する前に想像していた以上にインターンシップでは学ぶことがたくさんありました。また、昼食のときは社員の方々とも話す機会があり大学では学ぶことができないことを聞くことができました。
- インターンシップ生が一人しかいなかったら質問をたくさんできたので良かったです。
- インターン実習で気づいたことは同じ一つの会社内でも頭やパソコンを使う人や、かなり重い物を運ぶ力仕事、地道で単純作業を行う人など、様々な人がいた。悪かった点では、給料が出ないのでモチベーションがあまりなかった。

- ・ 企業の雰囲気を感じることができたり、業務内容を詳しく学び、一部を体験させてもらうことができたので非常に有意義に時間を過ごせました。
- ・ 研修先でも日本国内だけでなく世界レベルで戦っていけることを目指しており、今はどこの企業も世界の流れに乗り遅れないようにしていた。
- ・ CADIについて大変勉強になりました。特に初めて日本の会社に行くことができて、本当にいい経験でした。
- ・ 今回の実習では、職場の部署内で活動したため、一人の社員のような感覚で実習に臨むことが出来て良かった。また、職場内での社員の方々の会話を聞くことが出来て働く場の雰囲気を体験することが出来た。しかし、私達のインターンシップ担当者の方も自身の仕事をしつつ、こちらの作業に関しても行っていたため、大変忙しい感じであったため、質問しづらく感じるがあった。
- ・ 実習前は現在大学で学んでいる機械工学について実際に現場でどのように応用されているのか理解できていなかった。しかし、インターンシップ参加後は現在学んでいることを活かせることが多いことや、複数の科目で学んだことを複合して現場では作業をしていることが理解できた。今後も1つ1つの授業をないがしろにせず、将来現場で現在培ってきている知識を活かせるように頑張りたい。
- ・ インターンシップ実習で、社会人のマナーについて、社員の人の体験談も交えながら聞くことができ、とても勉強になりました。インターンシップ実習は緊張感があり、実際に社会にでた後のような体験ができました。
- ・ 会社の雰囲気が大体分かった。社員が非常に少なく、場所も山奥なため、全体的にのんびりとした社風に見えた。良く言えばマイペースに仕事を進められる環境、悪く言えば会社全体にあまり活気がなかった。また、社員の方と話したところ、会社の売上は決して良好とは言えず、今後の事業展開で苦戦しているらしい。現在の主要製品は医療用ロボットで、サウジアラビアの企業と商売をしているそうだ。また、雇用に関しても基本的に即戦力した雇わず、新卒はほとんど採用しないため、人材を育成する余裕もないものと思われる。
- ・ 良かった点は授業で習ったことを実際に見ることができたこと。悪かった点は八日間のスケジュールがきまっていなかったこと。興味を持った点は“熱”について。
- ・ 今回インターンシップに参加させて頂いて良かった点は、工場内で作業環境を良くするための注意書きの張り紙や、防毒マスクなどを行っている所を実際に見られたところです。また、私は普段の仕事を一緒に一緒にさせてもらったので、作業者の気持ち分かり、安全チェックでの改善案を考える時に作業者の立場で考えることが出来ると思いました。また、FRPIはほぼ全て人の手で作られており有機溶剤の使用もあるので、身体を大事にしてもらうためにも作業環境測定士が必要だと感じました。

## 10. 実習での感想、後輩へのメッセージ等（原文のまま）

- ・一度は絶対に経験しておいた方がいいと思った。社会人と同じような空気や雰囲気の中で作業をするので、実際に就職した際に、どういう生活リズムになるか分かっていれば、参加しなかった人より、有利に過ごすことができると思う。
- ・就活にも就職後にも必ず役に立つので、インターシップは積極的に参加してください。
- ・いい体験でした。できれば体験してください。
- ・自分の実力と現状を理解することができてとても良かったです。職場の雰囲気や職場での仕事を身をもって体験することのできる良い機会であったと思います。
- ・インターンシップに参加することで就職活動をするときの願書の書き方などが分かるようになり、就職活動がスムーズに終われると思う。
- ・学校の講義では学ぶことが難しい、職場の雰囲気や人間関係を体験することができ、働くことに意欲が湧いてきたことが一番の収穫だと感じる。インターンシップに参加することには不安があるかもしれないが、得られるものは大きいので是非参加して欲しい。
- ・実際に現場の空気を感じることで、普段わからないことを知る事ができた。また、学生にはない、プロとしての意識があることを知る事ができた。インターンシップには、2社以上参加した方が良い。
- ・インターンシップに行くと損は全く無かったため、後輩たちも必ず参加してほしい。
- ・会社の雰囲気を味わえたので、とても良い経験だった。
- ・字を読むのと、実施に行くと雰囲気を感じるのでは、おどろく程違いがあった。私はそこで仕事内容と性格が合っていないと感じ、就活に失敗しそうになったので、非常に助かりました。
- ・わからないことがあれば、悩まずにすぐに聞きに行ったほうが良い。
- ・今までは触れることのなかった会社での仕事の流れを体験することができたので、とても有意義なものとなりました。インターンシップで学んだことは絶対に無駄にならないので、ぜひ参加することをおすすめします。
- ・インターンシップに参加することで業界研究・企業研究ができるだけでなく、自己分析ができます。自分の力を再確認することで就職を有利に進められると思います。インターンシップに参加することを勧めます。
- ・インターンシップに行くと思ったよりいろいろなことを学びました。インターンシップには行くべきです。
- ・得るものが必ずあるので、損はしない。今の自分を見直すこともできるので、行きたい企業があれば行ってほしい。
- ・普段は目上の方たちと話すことがなかったので、自分のコミュニケーション能力のなさを実感すると共に向上させることができる。また、自分が何の学習をしているのかをはっきりと確認出来るので、これからの学習意欲にも関わると思うので、インターンに行くことは、ぜひおすすめします。
- ・自分の足りないものを見つけに行くことができるのが、インターンシップに行く意味なのかなと思いました。
- ・インターンシップには参加すべきです。。単位ではなく将来のビジョンのためにも必要だと思います。
- ・SEがどういう仕事なのかしっかり知ることができたので、インターンシップに参加することは、とてもためになると思った。
- ・実習は本当に満足のいくものだった。会社の対応や社会人とのコミュニケーション、初めての仕事と毎日がとても充実していた。インターンシップは行きたがらない人が多いが行かないのは本当にもったいないと思う。大学生限定で体験できるまたとない機会なので、絶対に行った方がいいと思った。本当行かせてくれた方々には感謝している。
- ・インターンシップには行くべきだ。
- ・KPECはさまざまな会社を選ぶことができるので、ぜひインターンシップの参考にした方が良くと思う。
- ・実習内容が企業に行くことと違うことがあるため、インターンシップで行く企業を実習内容で決めたりせずに自分の行きたい企業などで選べた良いと思った。
- ・実際に仕事をしている雰囲気を感じる事ができ、就職前に仕事とはどういうものかを認識できる貴重な機会となった。
- ・社内見学や業務の模擬体験は今後の就職活動に必ず役立つと思う。
- ・実習中に関わってくださった社員の方々はとても親切で、工場見学や実習の課題だけでなく社会人生活のことなど多くのことを教えて下さりました。また、僕たちに出して頂いた実習課題は、実際に日鐵住金ロールズさんで取り組んでいる案件で、社員の方も正解を知らないテーマに対して協力し、知恵を出し合いながら挑むことが出来ました。成果報告会で30人ほどの社員の方々に対し、プレゼンを行ったことも含め、自分の能力を試しながら成長するいい機会になったと思います。私はこの2週間で素敵な経験をさせていただきました。ぜひ後輩の皆さんも参加してみてください。
- ・自分で、目標を設定出来る人であったり、向上心を持って取り組むことが出来る人でないと、作業が単純な為、何も得る事なく終わってしまいます。大学や大学院を卒業する人であれば、何もすることなくインターンシップを終える事はないと思うので、しっかりと目標を持って臨んで欲しい。
- ・ Learning the basis of php is important before starting a web programming internship.



- ・ 九工大生命体工学研究科の第1期生の先輩がいるので、昔の大学についてなど話が出来る。また、研修先が京都なので京都の趣のある家を研究所としているため、リラックスして作業が出来る。他の研究者の方たちから様々なことを教えてもらえる。研究所の人たちは、とてもやさしく、お昼ご飯をおごってくれたりしてとても嬉しかった。丁度時期が良かったため、記者会見などの特別な体験をさせてもらった。もしかしたら、参加できるかも。
- ・ 実習を通して仕事のイメージがついてきている感じがする。本番に働く前に一度体験してみたほうが良いと思う。給料や経験はもらえなくてもうれしいが、業界理解の方に興味を持ちましょう。
- ・ インターンシップの実習内容がとても充実しており、社長とも直にお話しする機会が多々あるため、自分のやりたいこと、知りたいことを教えていただけるので、とても勉強になりました。一つ一つの作業で学べるが多々あり、1対1で教えてもらえるので、とてもいい経験になりました。実施に学校で学んでいることの意味もよくわかり、これからの学習につなげていきたいと思えます。
- ・ インターンシップで色々な経験を積みました。将来就職するために、大変に役立つと思っています。そして、できれば、自分の専門に関する会社へ行く方がいい。
- ・ 残業はしたが、社員さんとたくさん会話ができて、インターンシップ生とも仲良くでき、とても楽しかった。スキルアップもできたので、ぜひ参加してほしい。
- ・ 今回実習で行かせていただいた部署の方々は、とても雰囲気がよく、問題が起こったときには、みんなで意見を出し合っていて働きやすそうな環境だと感じた。修士へ進学予定の人も1回は学部生のうちに企業へのインターンへ行って仕事を体験するべきと思った。これからの授業への受け取り方、考え方に変化がでてくるかなと思う。
- ・ 自分の興味がある分野の企業のインターンシップに参加した方がいいと思います。実際に働くイメージが掴めます。
- ・ 私は2年でインターンシップに行ったが、専門分野がなく苦しんだこともあったが、自分で適切に判断・人に相談すれば、2年生だからこそできたこともあった。臆せずに2年もインターンシップに行く価値がある。
- ・ 今回の実習は、初めて行った実習だったのですごく緊張してしまいましたが、大学の実験と同じような感じで、出来たので楽しかったです。また、実施に社員の方とも話をするのができ、どのようなことをしているのかが分かったのが良かったです。後輩へのメッセージとしては、しっかり行く会社の下調べをして行った方がいいと思います。また、社員の方に聞きたいことがあったら事前に何を聞きたいか整理しておいた方がいいと思いました。
- ・ 私は三島光産株式会社のインターンシップに参加しましたが、社員の方々には社外のことに及び、色々なことを話していただき、社会人として働くとはどんなことなのか、少し理解できた気がします。実習中はもちろん真面目に取り組みましたが、嫌な思いもすることなく、気持ちよく研修に参加できました。とりあえず何かインターンシップに参加し、社会を経験したいと考えている方には、三島光産株式会社はおすすめです。
- ・ 社会人生活や自分の将来像に具体的なイメージが持てない人にはおすすめです。夏休みの隙間時間に是非行ってみてください。きっと自分のキャリア形成に役立ちます。
- ・ 実習前までは、社会に対して不安しかなかったが、実習を終えると、自身が社会で働く、明確なイメージができるようになった。また企業の方々がとても親切であったため、とても働きやすかった。インターンシップを1回経験しているかどうかは今後の就職活動に大きく影響してくるので、必ず参加すべきと思う。
- ・ 実習を通して現場を見学することで、働く姿を具体的にイメージするkとおができるようになりました。また、学校の授業で通用するところだったり逆に不足しているところも具体的に知ることができました。
- ・ インターンシップはもっと簡単な職業体験なんかと考えているかもしれませんが、私がしたのはとても本格的な仕事を体験することができ、実習先の方々もとても優しいので、ぜひインターンシップには行くべきだと思います。
- ・ 私はうまく出来たのか自信がありませんが、やはり相手方に対して失礼なことがないよう基本的なマナーは身につける必要があったと思いました。あとは、何事にも積極的に行動し、質問もちゅちゅせず何回もしてよいと思いました。
- ・ 大学で学んだことが、企業でどのように生かされているのかということは、大学にいただけでは分からないと思う。実際にインターンシップに参加することでそのことが理解でき、今後の大学生活をおくる上でモチベーションになると思うので、積極的に参加すべきだと思う。
- ・ 熱処理工事を専門としている企業へインターンシップに参加しましたが、熱処理に関するだけでなく、社会人に必要なものや大学で学ぶことができないことを知り体験することができるのでおすすめです。インターンシップの応募は6月や7月が多いので早めの行動をしておけばよかったと感じています。
- ・ 自分は注意されることはありませんでしたが、過去のインターンシップでは遅刻していた人や講義中に寝ていた人いたそうなので、気をつけましょう。
- ・ 研修先を選ぶ際は、どこが楽か厳しいかと選ぶことはできないと思う。運しだいであるため、せめて日給が出る場所を選ぶ方がモチベーションがある。最低でも交通代が出る場所を選んだ方がいい。実習中は、他大学の生徒と仲良く話すことができたため、充実度が高かった。

- ・ 百聞は一見に如かず・その時点で興味がない業界だったとしても、実際に見てみると印象がずいぶんと変わる。まだ見ぬ世界を知ること、自分の世界を広げよう。遊びまくるのも楽しいのかもしれないが、学生の今だからこそできる貴重な体験を是非ともしてほしい。
- ・ インターンシップは実際に会社の中に入ってどのようなことが行われているのかを自分の目で見るができる良い機会なので、1回は行ってみると良いと思います。
- ・ 今回のインターンシップの活動を通して、就職先を決めるための要素を肌で感じるいい機会になった。実習を通して、顧客の要望に対してできる限りいいものを提供することの難しさややりがいといったものをわずかながら理解できたのではないかと思う。
- ・ いい会社で実習しました。ありがとうございます。最初は何もできなかつたけど、今回会社で様々なことを経験できました。
- ・ 今回のインターンシップでは、実際の職場内に配属されての実習であったため、自身が社員として感じながら作業を行うことが出来た。学生生活には無い緊張感や雰囲気味わえる良い機会になると感じた。また、自身が実習で作業したものが社会の役に立つものとして世に出ていくと聞いた時は、強いやりがいを感じることができ、とても貴重な経験になったと思う。
- ・ 今回インターンシップを通して働くことの大切さや過酷さが身に染みて理解できた。また、現在学んでいることを活かせる場面や逆に新たに学ぶこともあり、今後の学生生活にいい意味で大きく影響する実習になったと考えられる。インターンシップ参加することは実習先の職場環境等不安なことが多いと考えられるが、恐れず積極的に参加して欲しいと思う。決して楽しいことが多いわけではないが、将来働くことへの意義や大変さを身に染みて実感でき、今後の生活を有意義にすることが可能になると私は考える。
- ・ 実際、インターンシップに参加してみて、仕事の雰囲気というものを実感でき、企業を知ることができました。これは、インターンに参加してみないと得られないことだと思うし、実際、就活の企業選択の幅も広がったと思います。
- ・ 今回の実習は正直失敗だったと思っている。零細企業であり、給与福利厚生もあまり充実していないことは応募前から知っていたが、仕事内容が面白そうだったのであえて応募した。しかし、実習内容はネットから調べた情報を資料にまとめて発表しただけで、実務に関しては全く触れることがなかったのので、仕事内容を体感することが出来なかった。社内の活気もあまり感じられなかったため、この会社で働きたいとは思えなかった。インターンの企業を選ぶときは、会社の概要やネットの情報だけでなく、実際に参加経験のある人から話を聞いた方が正確な情報が得られるかもしれない。
- ・ 会社の方々は終始お忙しいそうで、参加していて少し申し訳ない気持ちになった。
- ・ 初めての参加で、私は実際に工場で、作業員と同じような仕事をしていました。このインターンシップには私の行った所のような企業もあれば研究所のような企業もあるので自分の興味のある所にまず行ってみたいが良いと思います。興味があれば吸収も早いと思います。